

科目名	教科書名	副教材名	単位数
高3 理系（自由選択） 地理探究	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	ウィニングコンパス （とうほう）	2

1. 授業のねらい

地球環境と人間生活の関係を、教科書・地図帳・統計資料・写真などの教材を利用し、科学的に考察する能力を養います。大学入学共通テストでの地理総合または地理探究に対応できるように授業を行う。

2. 授業のすすめ方

高校1年時（地理総合）の続きを学習します。教科書と授業プリントを併用して授業を進めます。理系の場合、大学入学共通テスト利用が中心になると思いますが、この授業では、そのような事情もふまえ、基本に立ち返りながら、基礎力の充実を図ります。また、授業においては電子黒板などのICT機器を活用して視覚的な授業を展開します。

3. 学習上の留意点

- (1) 基本的な事項を「理解」して覚える。【気づいたことはメモをとる】
- (2) 地名は必ず地図を見て位置を確かめ、印をつける。【地図帳の利活用】
- (3) 常に「なぜ、そうなっているのか？」を考える。【因果関係の理解】
- (4) 資料、統計、地図から推理する。【法則性の理解】
- (5) 常に世界の新しい情勢に注目する。【時事的内容の理解】

⇒ 地理は、単なる暗記科目ではありません。「連想ゲーム」のように関連づけて理解していくことが、知識を定着させるポイントになると思います。

※高校3年（理系）の生徒にとって、この科目は、大学共通テストの入試科目の1つでもあります。大学入学共通テスト受験者で、学習方法などについて質問がある場合は、担当教員に相談してください。また、受験科目として必要なくなった等と言って授業を放棄することのないようにしてください。欠席過多や成績不振の場合は、単位不認定となります。

4. 副教材・参考文献

<参考文献> 最新地理図表 GEO（第一学習社）、地理統計要覧（二宮書店）、地理用語集（山川出版）
必要に応じて授業の参考となるプリントを配布します。
他、大学入試に向けて参考になる参考書・Webサイト等は、授業中に紹介します。

5. 評価方法

定期考査の結果、課題の提出状況、授業態度、授業内小テストなどにより総合的に評価します。

① 定期考査 100点満点×3回

出題内容 授業中に学習したもの、及びそれらの応用問題

出題範囲 1週間前までに発表

② 平常点 1学期20点満点、2学期10点満点

授業態度や提出物、小テスト等をもとに評価します。

6. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	自然環境 地形 気候	定期考査・授業態度・課題により評価する。 【中間考査】	地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、各種問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。
	五月	資源と産業 農林水産業 工業 第3次産業		
	六月	交通・通信と観光・貿易 村落・都市 生活文化、民族・宗教 衣食住 民族・宗教 領域と領土問題		
	七月	身近な地域の調査（地形図）		
二 学 期	九月	世界地誌 アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アングロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア	定期考査・授業態度・課題により評価する。 【基礎学力到達度テスト】	世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解する。 世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身につける。 問題演習を通して、大学入学共通テストの出題傾向を知り、本番で高得点を狙う力を身につける。
	十月	大学入学共通テストに向けた問題演習		
	十一月			
	十二月			
三 学 期	一月			
	二月			
	三月			

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。